

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年9月28日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2
作成者	高橋 章

1.開催日時	2022年9月16日	(金)	19:30	～	21:00
2.会場	リモート開催				
3.主催センター	鶴川2 ・ 鶴川1 ・				
4.参加人数	30人				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 8人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 1人				
	☐ 医療関係者 人 (うち、医師 人) ☐ 介護事業者 人				
	☐ 民生委員 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☒ 行政 2人				
	☒ その他 (18人)				
6.開催テーマ	コロナ禍におけるフレイル予防について				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 コロナ禍で不活性な生活となっている高齢者が増えている中で、フレイルと共に、オーラルフレイル(口腔機能の低下)の高齢者が増えてきており、専門職間でも共有されていない現状である。 (2)検討した地域課題 3/11圏域合同地域ケア会議にて、専門職に対してもオーラルフレイルの予防に対する普及啓発の必要性がある。				
8.会議の内容	11月の圏域合同地域ケア推進会議プログラム案の検討 ①案内発送書類②講義資料③発表④グループ分けの手法⑤ファシリテーターの件⑥事後アンケートについて⑦開催日までのスケジュール確認 次回開催までに ・事業所(愛信園・ケアフル)と小宮氏で、現場の取組についての共有を行う。 ・合同地域ケア推進会議で「私たちが取組めるオーラルフレイル予防」「高齢者口腔歯科検診の受診率を高める効果的な方法」についてGW行い、住民に周知できるように専門職間で共有する予定 事前にファシリテーター間で打ち合わせを行い、目線合わせをはかる。				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	・オーラルフレイルを住民の方に周知していくためには、まずは、圏域の専門職が理解し、住民に説明出来るようになる。その為に、圏域合同地域ケア推進会議を開催し専門職の知識を高める。 ・昨年度からのフレイル予防リーフレットレシポの普及活動を、継続するとともに、拡大していく。				

医療と介護の連携支援センター 確認日

9月28 日